

2 学期始業式講話

おはようございます。本日から 2 学期の始まりです。この夏は暑い夏でしたね。皆さんいかがだったでしょうか。

我が家では 20 年前に子どもたちの部屋にエアコンを設置しました。皆さんが生まれるちょっと前からの 20 年間はずっと暑かったように思います。その 10 年前、今から 30 年前はそうではなかったです。我が家にはエアコンはなく、扇風機でした。それでなんとか耐えたんですね。とにかく、まだまだ暑さは続きますので、くれぐれも熱中症には気をつけてください。

さて、1 学期末の終業式でお話をしましたが、学校生活を楽しむには本人の動き次第ということをお伝えしました。楽しみを待っているのは駄目で、自ら働きかけるのが大事だと言いました。これから 2 学期を過ごすにあたって、何か一つでも目標や夢、思いを持つということをお頭にに入れてほしいと思います。

夢はかなわないことがあるかもしれませんが、思いは通じる時があります。今現在皆さんはいかがでしょう。私は高校時代考えていたことは、卒業したら海外に行ってみたいということでした。何しろ毎日勉強と部活動に追われていましたから、受け身そのものの毎日でした。早くここから脱出したくて色々思い描いていました。その 1 つが外国を訪れるということでした。大学時代は中国に行きましたが、教員になってアメリカへ行くという情報を得、行く機会を得ました。それは夏休みほぼ 1 か月間、65 万円ほどで行けるというものでした。全国の社会科教員が対象でしたが、これに応募して今から 37 年前、昭和最後の年にあたる昭和 63 年の夏にアメリカ東海岸に行くことができました。

2 週間ほど大学で授業を受けて勉強し、1 週間はホームステイ、1 週間は観光でした。百聞は一見にしかずという言葉がありますが、やはり行って見て色々なことを知りました。ニューヨークからボストンへ行き、ここの街にはハーバード大学という優秀な大学がありますが、その隣街のマサチューセッツという所にある大学で学びました。何しろ広大でした。この近くでホームステイした時に、初めてウオーターベッドで寝ました。夏は冷たく冬は暖かくできるもので快適でした。それからナイアガラの滝を見に行きました。白糸の滝の 10 倍以上あるもので、船に乗って近くまで行き、合羽を手渡されてこれを着ていないと水浸しになるというものでした。ニューヨークの野球場では、まだ日本に到来しないウエーブがありました。こんな風にアメリカ人は試合観戦を楽しむんだと思いました。

それから以前から気になっていたことを聞きました。それはアメリカの歴代大統領で、誰を尊敬しますかということでした。「Who is the best of President?」と大学の教員やホームステイ先の方に聞きました。ほぼ 90%以上が「リンカーン」と答えました。これはなぜだろうと聞くと、皆まちまちでしたが、黒人奴隷解放をしたからが正解だったように思えました。このことは裏を返すとまだまだ人種差別的な面はあって、リンカーンが初めて具体的な形で広言したからではないのかなと思いました。

今もトランプ大統領は、外国人の移民排斥を言っています。特にメキシコはアメリカと地続きなんですね。彼らは悪いとは思いつつも反対を唱えないのはどこかに差別意識があるのかなと思ったりしました。大変勉強になりました。

その他、気づいた点はアメリカ人は大きいことはいいことだという面があるのではないかということでした。マクドナルドへ入って注文しましたが、日本のラージサイズはアメリカではミドルサイズでした。コカ・コーラのラージサイズはホームサイズでした。車も道路も広く大きく、これは身体以上に、思考そのものではないかと感じました。

そして、若いことはいいことだという面。これは老人の方々が原色の赤や黄色の服を着こなしている面で、いつまでも若者気取りでいるように思えました。

これなども行ってみてわかることで、百聞は一見にしかずだなあとつくづく思いました。

来週実施される集中研修はそうした意味では、色々と面白いと思います。2年生はさらに海外探究研修につながるものであり、おおいに刺激を受けるのではないのでしょうか。3年生は昨年度行きましたが、海外の独特な匂いが鼻につくと思います。

こんな風に色々な思いをはせて、2学期を充実したものにしていきましょう。以上で講話としたいと思います。

(令和7年8月29日、始業式)